WorldRunnersJapan
For A World Without Hunger

News Letter
for members & participants

2015年3月7日（第78号）
企画・編集　佐藤 高正　徳永 京一
発行者　加藤 典宇暉
発行所（特活）ワールドランナーズ・ジャパン
〒214-0006　川崎市多摩区菅仙谷 2-17-1-108
TEL/FAX 044-949-1068

★ランニング感謝祭特集号★

# 第１６回ＷＲＪ新春ランニング感謝祭を開催

**ものまねアスリート芸人　M高史さんとスタート（5kmの部）**

第16回WRJ新春ランニング感謝祭にご参加頂き有難うございました！！

2月1日(日曜日)、快晴の中「第16回ワールドランナーズ・ジャパン新春ランニング感謝祭」を開催致しました。走って頂いたランナーの皆さん、大会をサポートして頂いたボランティア・スタッフの皆さん、有難うございます。おかげさまで、「新春ランニング感謝祭」を無事開催することができました。今年の参加ランナーは898人、ボランティア・スタッフが81人と、1000人近くの方で支えられた感謝祭です。

昨年の本欄に「照る照る君には来年も頑張って貰おうと思います」と書いて、数か月間頑張って貰った結果の快晴なのですが、風が強く、テント崩壊の危機、給水コップの散乱、チャイのガスが消える、向かい風では全然前に進まない、ランナーもスタッフも強風に苦しめられた大会でした。

今年は昨年のチャリティーリレー for AFRICAに続き、リストバンド形式の計測チップでタイム測定を行いました。結果はすぐにWRJのサイトで見ることができるようになりました。

今年もゲストランナーとして「ものまねアスリート芸人 M高史」さんが、5kmの部に出走。走りながら皆さんの応援、準備運動・物まねショーに加えてあちらこちらでの写真撮影会と、楽しい雰囲気を創って頂きました。ランシャツ・ランパンなのに寒そうにしていないのはさすがです。が、裏側で「ぶるっ」としていた姿を見かけてしまいました。

皆さん、譲り合って走って頂いていたのですが、残念なことに一般ランナーの方から注意を受けてしまいました。おそらくスタート直後の集団状態で遊歩道一杯に広がってしまったのでしょう。反対方向に走っているランナーがすれ違えず接触してしまいました。占有の遊歩道ではないので、他のランナー・歩行者・自転車が通っています。またゴルフ場などの駐車場に出入りする車が横断しています。私どももスムーズに調整できるよう考えていきます。皆さんには、よりいっそう注意して走って頂ければと思います。

今回のチャリティー343,316円（参加費から開催費用を引いた額＋寄付金）は、「地球上から慢性的な飢餓を終わらせる」、「日本に、走ることを通じて貢献するという新しい文化を創作し、根付かせ、拡大していく」というWRJの活動資金とさせて頂きます。

様々な大会がある中で本大会を選んで頂いた皆さん、スケジュールを割いてスタッフとして支えて頂いた皆さん、本当に有難うございました。

5月17日(日)には「チャリティーリレー for AFRICA」を同じ多摩川・古市場競技場を拠点に開催します。ランナーとして、そしてスタッフとしてお会いできることを楽しみにしております。

第16回WRJ新春ランニング感謝祭
実行委員長　佐藤 高志（WRJ副代表理事）

# 新春ランニング感謝祭実施報告

≪参加者数≫

| | 参加者数 | ｴﾝﾄﾘｰ数 | 参加率 |
|---|---|---|---|
| ハーフ | 623 人 | 749 人 | 83.2% |
| 10km | 199 人 | 232 人 | 85.8% |
| 5km | 76 人 | 85 人 | 89.4% |
| 合計 | 898 人 | 1066 人 | 84.2% |

≪当日の気象　11 時時点　気象庁データ　横浜≫

天気：快晴　気温：6.9℃　湿度：25%

平均風速：6.7m/s　平均風向：北北西

最大瞬間風速：13.3m/s　瞬間風向：北

≪チャリティー≫

343,316 円

≪スタッフ・ボランティア≫

81 人

昨年の第 15 回新春ランニング感謝祭に引き続き、今年もゲストランナーとして参加して頂きました M 高史さんのブログを紹介します。

**～ものまねアスリート芸人･M 高史オフィシャルブログ～**

## M 高史の日々精進！！

http://ameblo.jp/monomane-athlete-mikami/

また、当日アップされたブログです。

http://ameblo.jp/monomane-athlete-mikami/entry-11984506274.html　2015-02-01 23:42:58

テーマ：ゲストランナー

今日は、『ワールドランナーズ・ジャパンの第 16 回新春ランニング感謝祭』のゲストランナーを務めさせていただきました

この大会は「走ることを通じて世界の飢餓の終わりに貢献しよう」というチャリティー大会です

大好きなランニングをすることが、世界の誰かのために少しでも微々たることでもお役に立てるということは嬉しいですよね¥

準備体操（ものまね体操）

ハーフマラソンと 10km の部お見送り

からの 5km の部に出走

終わってから、ものまね&ギターを使ったパフォーマンスもさせていただきました

風も強くて寒かったですが、無事に（？）いつものウエアで乗り切りました

スタート前にタンザニア国歌独唱されました歌手の Sunny さん、閉会式前のパフォーマンスではギターに合わせて一緒に歌っていただきました

参加ランナーの皆様、応援していただいた皆様、大会関係者・スタッフ・ボランティアの皆様、寒い中お疲れ様でした ありがとうございました

M高史

**準備体操は、みんな一緒に！！**

**風も強くて寒いですが、いつものウエアです**

**皆さん　ご一緒に、ハイポーズ！！**

**タッチでお出迎え**

リストバンドでタイム計測の参加者と
サポートする M 高史さん

約 900 人の選手にバナナ配付の歌手 Sunny さん

「落とさないようにね」

ジャンベ奏者 あきさんとコラボ
恒例のタンザニア国歌を独唱する Sunny さん

WRJ特任カメラマン 森田 敦也さん(あっちゃん)

チーム UNITONE
(右から SOULKNOCK あきさん、みっちーさん、はるなさん)

ギターを使ったパフォーマンス

## 新春ランニング感謝祭にボランティアとして参加「東京女学館中学校・高等学校」中学生たちの感想

社会貢献学習の一環で「東京女学館中学校・高等学校」の中学 3 年生 21 人が、ボランティアとして参加し感想文を寄せて下さいました。編集スペースの関係で全員分を掲載出来ないことをご容赦下さい。

### 宇納 恵梨奈さん(受付及び WRJ ブース)

今回、2 月 1 日のチャリティーマラソンのお手伝いをさせていただき、私は冬休みの調べ学習では得ることの出来なかった貴重な体験をさせていただきました。インターネットで事前に調べ、紙に文字を書いただけでは得ることの出来なかったであろう経験を、自ら現地に行くことで沢山得ることが出来ました。受付、ゴール地点でのお仕事。様々な仕事を体験した中で、特に一番印象深かった仕事は、プラカードを持ち、ランナーの方々を誘導するというものでした。その仕事はただただ寒い中立っているというとても大変で辛い仕事でした。しかし、走り抜けるランナーの方々は皆さん笑顔で、それに負けないくらいスタッフの方々の笑顔も輝いていました。時にはハイタッチをしてくださるランナーさんもいました。すごく励まされたのを今でも覚えています。短い一時でしたが、とても充実した一時でした。機会があればまた参加したいです。お世話になりました。

強風対策でトラックのコンテナを使いました

### 石川 瑠里子さん(受付及び競技場チーム)

今回ワールドランナーズ・ジャパンに訪問していろんな事を学びました。今までワールドランナーズ・ジャパンという団体を知りませんでした。この団体を訪問しようと思ったきっかけはグローバルフェスタで偶然見つけ、「走ることを通して慢性的飢餓をなくす」というビジョンに興味をもったのがはじまりでした。そして WRJ についていろいろ調べ、2 月 1 日の新春ランニング感謝祭でボランティア活動をしました。それまで自分はボランティアをしたことがなく、ボランティアのイメージも「大変」といったかんじでした。ですが実際に行ってボランティア活動をしてみたら、自分が考えていたイメージとは全く違いました。ボランティアは大変だけどその分参加者の方々やスタッフさん達から元気をもらうことができるのだなと思いました。本当に良い経験になりました。WRJ をもっといろんな人に知ってもらい、「走る事を通して困っている人を救う」という文化を広げたいと思いました。今回ボランティア活動に参加する機会を私たちに与えてくれてありがとうございました。

司会の大出恭子さん

大出さんのランナーお出迎え

### 山下 真歩さん(テント管理・荷物管理)

私は今回ワールドランナーズ・ジャパンさんの新春ランニング感謝祭でスタッフとしてボランティアを行わせていただきました。私は更衣室・荷物管理のお手伝いをさせていただきました。強風の中のボランティアで大変でしたがワールドランナーズ・ジャパンのスタッフさんたちが優しく仕事の内容を教えてくださったり仕事中もたくさん声をかけてくださり、緊張せずに私自身も楽しみながらボランティアを行えました。今回私は初めてボランティアをやってみましたがとてもやりがいを感じました。なぜならランナーさんの方々がお礼を言ってくれたからです。私もランナーさんに応援したりコミュニケーションをとりました。とても良い経験になりました。「世界から飢餓をなくす」という目標を難しいと思いましたがたくさんのランナーさんがいたので達成できるだろうなと思いました。私たちもできる事からやって目標達成のために協力したいです。

**稲毛 一実さん(テント管理・荷物管理)**

私は、今回ワールドランナーズ・ジャパンのボランティア活動に参加させて頂きました。最初は、しっかり出来るのかな、何をするのかなと不安でした。ですがスタッフの方がとても優しくそんな不安はすぐになくなりました。

私の担当は、荷物・テント管理でした。ランナーの方々の荷物を入れるビニール袋を渡すとき時間がかかってしまったり手こずってしまっていたときもあったけど、ランナーの方々が袋を受け取る際に“ありがとう”や、“こんにちは”などの挨拶の言葉を頂いて元気がでました。

このボランティア活動で、人とのふれあいや言葉を交わして応援したり、一生懸命に走っていたランナーの方たちをみて逆に私が元気をもらったと思います。スタッフの方々はフレンドリーでとても良い経験になりました。そして、社会の一員として貢献できて嬉しかったです。

**荷物置き場の様子**

**伊勢田 汐里さん(遊歩道(コース)チーム エイド(給水))**

今回、ワールドランナーズ・ジャパンの新春ランニング感謝祭のボランティア活動に参加させていただきました。私にとって、初めてのボランティア活動だったので最初は周りに迷惑をかけないか不安でしたが、ボランティア団体の方々がとても優しく丁寧に順序を教えて下さったので、安心してお手伝いすることが出来ました。

私は、今回給水作業を手伝わせてもらいました。ランナーさん達が給水ポイントに来た時に水が無くなる事がないように、バケツに入った水をひしゃくですくって紙コップに注ぐ、それが主な仕事でした当日は、晴れていましたが風が冷たく、外での作業はつらかったです。けれども、ランナーの方々に「がんばって下さい」と声をかけた時に「ありがとう」とかえしてもらえると、とてもやりがいを感じることが出来ました。

大きな達成感を得ることが出来て、とても貴重な経験になったと思います。

**中山蓮((遊歩道(コース)チーム エイド(給水))**

私は初めてボランティアに参加しました。学校の課題という形ではありましたが、思っていたよりも楽しめました。もちろん大変なこともありました。風が強くコップが倒れてしまったり、ランナーの波に追いつけず、水の補給が足りなくなってしまったりすることもありました。ランナーの方々にも同じ給水係にも迷惑をかけてしまった部分もありました。しかし、ランナーが水を取る時に、「ありがとう」と言ってくれた時はとてもうれしかったです。

このボランティア協力などをもとにして発表をしました。そのために WRJ についてたくさん調べました。アフリカの地域の現状は思っていたよりもひどく驚きました。だから WRJ の取り組みを知り、私達にできることは出来る限り協力したいと思いました。国際協力についてよく知ることができ、とても良い経験になりました。

## 新春ランニング感謝祭にボランティアとして参加
## 「川崎市立有馬中学校」 袴田 美咲さんの感想
## (競技場チーム)

私は、老人ホームでピアノを弾くボランティア活動をしています。この活動が楽しかったので、ピアノ以外に私でもできることはないかと、考えるようになりました。

ある日、ボランティア募集冊子で「WRJ 新春ランニング感謝祭」の活動を知り、思い切って応募しました。

当日、私は「競技場チーム」として、マジックハンドを片手にコースの誘導を行いました。

一般で申し込んだ中学生スタッフは私だけで心細く、始めはどう誘導してよいのかわからず不安でした。でも、スタッフさんが丁寧に教えてくださったので、最後には積極的に活動することができました。また、ランナーさんが、マジックハンドにタッチをしてくれたり、「頑張ってください！」と言うと、「ありがとう」と答えてくださったりして、とても嬉しかったです。

マラソンの経験がない私ですが、楽しそうに走るランナーさんの姿を見て、いつか走ってみたいと思いました。

これからも自分にできる事をみつけ、行動に移していきたいです。

**医療(メディカル)チームによる AED 講習会**
**ランナーの安全・安心を確保**

## 新春ランニング感謝祭 WRJ展示ブースの報告

まず初めに、参加者の皆様に配付しておりました「チャイ」ですが、後半の一部のランナーの皆様への提供分が不足してしまったことをお詫び申し上げます。寒い中ゴールされたランナーの皆様の冷えた身体を少しでも温めて欲しいとの目的で行っておりますサービスでした。今後は可能な限り対応出来るように頑張りたいと思います。

然しながら、WRJ は飢餓を終わらせることを目的の一つとした NGO ですので、保険的な余剰分がフードロス（無駄になる食品）へ繋がることを最小限に抑えたい背景があることも、ご理解頂きたく思います。

今回の大会は強風のために WRJ ブースによる展示や各種イベントは全て中止しました。よってこの場を借りまして皆様に伝えたかったことを説明させてください。

WRJ には二つのミッションがあります。

「地球上から慢性的飢餓を終わらせる」ことを目的とし、「日本に、走ることを通して貢献するという新しい文化を創作し、根付かせ、拡大してゆく 」というビジョンを掲げています。

よって、皆様の大会参加費から経費を差し引いた残りが WRJ の活動費として利用され、それがアフリカへの支援に繋がっています。

支援は大きく二つあります。

ケニアにある 4 大スラムの一つであるキコンバスラムに住む栄養失調児に対し、週末の給食を提供する支援。もう一つは、タンザニアでの学校建設も大詰めとなり、次の支援として、貧困や古い習慣により進学困難な優秀な少女に対し、奨学金として長期間支援するプログラムを開始しました。これはマンスリー寄付として皆様よりご支援頂きながら、卒業までの 6 年間を支援します。

なぜ少女への教育なのかは、女性は将来得るお金を自分の欲求には使わず、家族や地域の幸福の為に使う傾向が強く、これが慢性的な飢餓に対し長い時間の中で効果があるとされているからです。

「かざして募金」や「事務局受付」は随時行っておりますので、是非に皆様からの温かいご支援をお待ちしております。

WRJ ブース担当　大渕 秀仁(WRJ 運営委員)

新春ランニング感謝祭スタッフ・ボランティア
81 人の皆さん有難うございました(敬称略)

佐藤 高志、矢崎 芽生、加藤 典宇暉、森田 敦也、細貝 博、久保 正義、杉浦 正宣、大渕 秀仁、大野 みどり、堀川 真由弥、鈴木 香子、中田 彰生、金子 良太、矢部 健一、田口 達、和田 基靖、徳永 京一、田中 英明、加藤 悠太、佐藤 高正、柏 正俊、嶋永 誠二、伊藤 沙希子 江崎 礼子、新川 菜生、小笠原 香奈子、岡林 あす香、宇納 恵梨奈、稲田 希望、小川 紗里奈、小野寺 文香、伊原 菜々穂、海老澤 彩、石川 瑠里子、木付 有咲、大内 結莉奈、小澤 雛、細井 八千代、臼井 恵津子、佐藤 翔、山下 真歩、稲毛 一実、梅辻 万紀、片桐 楓汀、久木田 美穂、大出 恭子、飯田 正一、Sunny、小泉 江里子、大熊 千晶、小松崎 康文、加地 沙也子、小関 翔一、堀田 光紀、岩波 龍一、松田 敏郎、袴田 美咲、角田 真樹、小林 賢司、小林 恵子、武田 典子、杉山 幸子、横井 萌、中山 茜、伊藤 美沙、伊勢田 汐里、大岡 恵佳、上岡 茉子、幸加木 智博、高津 直樹、住吉 健、前島 真織、小川 望、満田 恵、森 弘次、早川 佳珠子、高橋 直子、串橋 徳昭、渡辺 隆司、國廣 貴朗、菊地 広孝

## 奨学金プロジェクトがスタートします

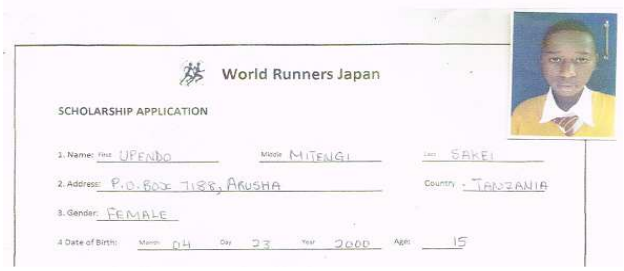
今年から、準備中だったタンザニアの少女たちへの奨学金プロジェクトをスタートさせます。これは、WR タンザニアを通して現地の初等学校を卒業した貧困家庭の優秀な少女に上級学校で学ぶ機会を提供し地域のリーダーとして育ってもらおうというものです。慢性的飢餓の状態というのは一見貧しい生活状態として現れます。貧困な生活状態を終わらせるカギを握るのは、女性の自立とリーダシップだと言われています。世界的な傾向として一般的に女性は、手にした収入を子どもの教育や家族の健康等家族の未来のために投資します。WRJ は、タンザニアの農村に女性のリーダーシップの卵をたくさん生み出せたらとの思いでこのプロジェクトをスタートさせました。延べ 60 名の少女をサポートする 360 万円のプロジェクトです。具体的には毎年新たな奨学生を 2 名ずつ 5 年間募集し、セカンダリースクール 4 年間とハイスクール 2 年間合計 6 年間支援するものです。生活費と学資合計一人/5,000 円/月、60,000 円/年、一人の少女の卒業まで計 36 万円を支援します。

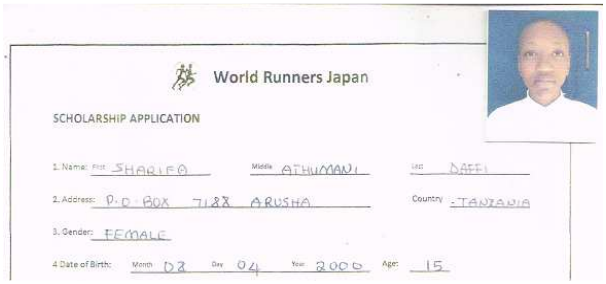
スポンサーとして参加して下さる方は、事務局までお問い合わせ頂くか、郵便局窓口備え付けの払込取扱票通信欄に「奨学金プロジェクト」と記入の上ご送金ください。

※WRJ 郵便振替口座番号：00190-6-566997　加入者名：（特活）ワールドランナーズ・ジャパン

WRJ 事務局：〒214-0006　神奈川県川崎市多摩区菅仙谷 2-17-1-108

TEL/FAX:044-949-1068　Email:info@wrj.jp



# 第7回 WRJ チャリティーリレー for AFRICA開催のお知らせ！

## 仮装もOK！元気に走って、募金も募って、アフリカへ貢献しよう！！
## 私たちは、走ることでケニア・タンザニアの現地プロジェクトをサポートします！

今年5月17日(日)に第7回**WRJチャリティーリレー for AFRICA**を開催します。本大会は、特定非営利活動法人ワールドランナーズ・ジャパン(WRJ)主催の、走ることで世界の飢餓の終わりに貢献するという目的で開催されるリレー形式のランニング大会です。走ることで世界の飢餓の終わりに貢献するという目的のため、参加費から大会経費を引いた余剰金でAFRICA現地、スラムの子ども達の給食や農村の少女たちの奨学金プロジェクトを支援する予定です。

昨年、大会の趣旨に賛同してエントリー頂いたリレー82チーム、5km97人、キッズ24人、親子36組のランナーと69人のスタッフ・ボランティアによって国際色豊かな雰囲気で開催、貢献金額133,414円をAFRICA現地、スラムの子ども達の給食や農村の少女達の奨学金プロジェクトのために支援させて頂きました。

第7回大会のゲストランナーは、おなじみのものまねアスリート芸人・M高史さんです。計測システムを使用した種目別順位表彰も行う予定です。また、ご参加頂ける方は、ぜひ自らのチャレンジを自分の周りの方々に伝えて頂き、そのチャレンジに共感される方からの寄付を集めて、大会当日設置する募金箱までお持ち頂けますと幸いです。この寄付についても参加費と同様に、現地プロジェクトの支援活動の寄付とさせて頂きます。

昨年以上に多くの方々が参加して下さるようスタッフ一同お待ちしております。同時に、ボランティアとして大会の運営に携わって頂ける方も大募集しています。走って、支えて、つながるために、一人でも多くの方と一緒に大会が創れることを願っております。

第7回WRJチャリティーリレー for AFRICA
実行委員長　和田 基靖(WRJ理事)

日　時：5月17日(日) 9時 受付開始
場　所：川崎市古市場陸上競技場 スタート、ゴール
種　目：リレー(20km=5km×4)、5km(個人)、3km(キッズまたは親子)
参加費：リレー：10,000円/1チーム、5km:2,500円/1人、3km:キッズ1,000円/1人、親子2,000円/1組
申込締切：エントリーサイトは4月19日(日)、事務局受付は4月24日(金)まで
※詳細は、同封の案内をご覧頂くか　http//www.wrj.jp　をご覧下さい。尚、古市場陸上競技場には駐車場はありません。近くにも駐車場はございませんので、お車でのご来場はお控えください。また、当日出たゴミは、必ずご自宅までお持ち帰りください。
当日のお手伝いをして頂くボランティアも募集致します。
ボランティアにご興味のある方は　info@wrj.jp　へお問い合わせください。

**昨年の様子**

**＜スタート 5kmの部＞**

**＜仲間とゴール＞**

# 2015年WRJアフリカプロジェクトツアー大枠決まる

昨年、現地プロジェクトの進捗の遅れを受け見送ったアフリカ現地訪問ツアー(7月3日(金)～7月12日(日))を実施します。現地と調整中で詳細はこれから決定します。今回のツアーの目的は、より多くのWRJ関係者に現地を経験して頂く事と、現地のキーと成る人々と人間関係を創る事が大きなポイントです。個別のプロジェクトでは、奨学金対象となったタンザニアの少女達と会います。またタンザニアのシンギランドセカンダリースクール建設工事の進捗を確認し問題があれば現地の人々と話し合いWRJとして何が出来るかを明確にしてきます。ケニアについては、ナイロビのスラムキコンバーの週末の給食プロジェクトの現地を訪ねます。今後、現地の受け入れ態勢と、経由地の中東の安全情報を確認しながら計画を進めて行きます。

**ツアーに関心をお持ちの方はWRJ事務局までお問い合わせ下さい。**

## 定期ラン( since1994)のご案内

WRJ ではランナーの交流の場として毎月第二日曜日に定期ランを開催しています。

通常は皇居周回コース(1 周 5km で、竹橋・和気清麻呂銅像前をスタートし、走力に合わせて 1～3 周を走ります(年に数回、多摩川や荒川等で開催しています)。終了後、懇親会を開催しています(神田駅周辺)。

○参加希望・ご質問は、定期ラン連絡用メール(teiki-run@wrj.jp)へ、定期ランマネージャー佐藤、和田、鈴木理事に届きます。

※連絡が取れない場合は WRJ 事務局まで
(044-949-1068　加藤方)

4 月 12 日(日)(第 251 回)
多摩川・国立温泉、湯楽の里を拠点
(南武線・矢川駅 11 時集合)

5 月 10 日(日)(第 252 回)
皇居周回コースで開催、
(神田駅 14:40 もしくは
和気清麻呂像 15:30 集合)

## ワールドランナーズ・ジャパン(WRJ)ホームページに英語版を立ち上げ

>>English

ワールドランナーズ・ジャパンの活動をより多くの人に知っていただくため、また、いろいろな国の方に私達のランニング大会に参加していただきたく、この度、ホームページの英語版を立ち上げました。5 月のチャリティリレー for AFRICA のご案内(英語)も近々アップします！

## 5 月 17 日開催の WRJ 主催『チャリティーリレー for AFRICA』にWRJのTシャツを着て走りませんか？

～期間限定！3 月末まで注文を受付中、
お届けは 4 月以降～
詳細は、同封のチラシをご覧ください。

## 不定期ラン( since2013)のご紹介

クリスマス直前の 12 月 21 日(日)、横浜不定期ラン、サンタに扮したランナーが、山下公園・港の見える丘公園・外人墓地・赤レンガ倉庫などを駆け抜けました。

懇親会はもちろん横浜中華街、中華料理食べ放題で横浜の夜を満喫。

今年も色々なところを走ろうと思います。
定期ランともどもよろしくお願いします。

**サンタに扮した不定期ラン参加の皆さん**

### 編集後記

2 月 1 日開催の第 16 回ランニング感謝祭は、過去になかった強い風で参加者、応援者、出店者、ボランティア、スタッフ、すべての方が苦しめられました。当日の気象庁・気象データで平均風速と瞬間風速を調べたところ、スタートの 10 時 40 分に最大瞬間風速 17.3m/s を計測していました。これは、疾強風（小枝が折れる、風に向かって歩けない）というそうです。風力 8 の台風です。前日も強い風が吹いており、古市場陸上競技場のテントの屋根上げを当日行うことにしました。予定のタイムラインより早くボランティア・スタッフ総出で行いました。全体ミーティングの開始時間が、30 分遅れとなりましたが、受付時間まで何とか間に合わせることが出来ました。ご協力頂いた皆様に感謝です。ランナーの皆様には、舞台裏までお見せすることになったかもしれませんね。

東京女学館中学校・高等学校の中学 3 年生が、今年も社会貢献学習の一環で来てくれました。8 人から始まり、去年は 11 人、今年は 21 人でした。現在、ランニング感謝祭では欠かせないパワーとなっています。

ものまねアスリート芸人･M 高史さん､歌手の Sunny さん、ジャンベチーム UNITONE の SOULKNOCK あきさん、みっちーさん、はるなさん、スタート・ゴールの古市場陸上競技場からコース上にも出張撮影のカメラマン森田さん、司会の大出さん、有難うございました。

いよいよ奨学金プロジェクトがスタートします。支援する少女たちも決まりました。そして、アフリカプロジェクトツアーも決まりました、ツアーでは、その少女たちとの面談も決まっています。6 月発行予定の次号では、詳細を報告します。今年もワクワクする年になりそうですね。　(徳永 京一)